

事業所における自己評価結果(公表) 公表:令和3年 12月 24日 配布数14 回収数14 回収率100%

事業所名 所沢市立かしの木学園

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点・コメント	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	2	0	兄弟+親子登園だと狭く感じる。大きい物の配置をなくすなど対応が必要。 現在はコロナウィルス感染症対策として部屋の利用人数を制限している。	室内の安全・衛生に努め、整理整頓や物品配置の見直しを定期的に行っていきます。コロナ対応として密にならない人員配置を調整していきます。
	② 職員の配置数は適切である	12	2	0	曜日によっては職員がもう一人いた方が良い日がある。 ぎりぎりになるときがある。常に+1の職員が理想。 母子分離の際は職員が足りない。	法令で必要とされる人員を配置していますが職員配置を調整して円滑なクラス運営を行えるようにします。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	5	0	手洗い場が不足している。 水道や段差など使いにくい所がある。 子供用手洗い場が使いにくい。	老朽化に伴い、必要な設備の改修・修繕については市に相談しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	0	0		
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14	0	0		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0	0		
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	0	0		評価結果をホームページにて公開する予定です。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	0	0	共有し検討事項は検討している。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	1	0	定型発達に関する研修を二か月に一度開催している。 コロナ禍もあり研修は少ない。	作業療法士、臨床心理のアドバイザーを迎え定期的に職場内研修を行うとともに、外部研修やオンライン研修への参加も積極的に行っていきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	0	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	0	0	遠城寺式以外にも他のアセスメントツールの活用を検討している。	専門家のアドバイスを受け、適切なアセスメントツールの活用を検討していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	0	0		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援計画を立案しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	14	0	0		児童発達管理責任者、理学療法士、クラス職員で計画・立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	0	0	常に子ども主体に職員同士確認し工夫している。	児童の特性に配慮したプログラム立案を心がけながら、季節に応じた活動や様々な感覚を取り入れた活動の提供をしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14	0	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	0		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	0	0	当日行えない場合は翌日に確認する。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	0	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	0	0		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	1	0	サービス担当者会議が開催されていないので該当しない。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	0	0	情報共有したり、広報誌を使い周知したりしている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	13	1	0	今後広く連携できるよう準備している。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11	3	0	親を通して。今後は直に連絡を取るようになっていく。 今後連絡体制を整えていく。	今後は主治医及び嘱託医と連携を図り連絡体制を整えていきます。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	0	引継ぎ資料を作成したり、訪問したりしている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	0		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	1	0		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	11	1	コロナのためできなかった。 感染の状況で再開していく。	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら同年代の子ども達との仲間づくりに努めていきます。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13	1	0	コロナ禍のため今年度は開催の回数が少ないが参加している。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	0	0		
保護者への説明責任等	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	14	0	0		
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	1	0	欠席加算について改めて保護者に伝えた方が良い。 契約時(入園時)に説明している。	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	0	0		
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	0	0		

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	1	0	コロナのため保護者会は開けていない。また父母室に残る母たちが少ない。 保護者会等の開催は中止しているが、役員の活動について相談にのっている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14	0	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	0	0		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	14	0	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	13	1	0	コロナのため外部は受け入れていない。 コロナ禍のため来園等控えてもらっているが、学生の実習受け入れ等は継続している。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	0	0		内部研修として救命講習会、不審者対応、感染症対応等マニュアルに準じた研修・訓練を実施しています。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	0	0		法令に基づき年5回の避難訓練を実施しています。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14	0	0		
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	0	0		アレルギー対応については個々に相談を受け、医師の指示書に基づいた対応を行っています。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	2	0	事例集という形にはしていないが、記録し朝礼や終礼で共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	0	年に一度職員研修をしている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	2	1	事例がない。 来年度より取り組む準備をしている。	身体拘束については今年度研修を実施し、必要な書類の整備が整い次第、今後個別支援計画に反映していきます。